

科研基盤 A「地理情報科学標準カリキュラムに基づく地理空間的思考の教育方法・教材開発研究」平成 23 年度全体会 議事録

日時：2012 年 3 月 14 日

10：00~12:00

会場：東京大学工学部 14 号館 802

出席：浅見泰司、石川 徹、太田守重、小口 高、河端瑞貴、久保田光一、貞広幸雄、鈴木厚志、藤田秀之、古橋大地、村山祐司、森田 喬、矢野桂司、湯田ミノリ、李 召熙、若林芳樹

欠席：有川正俊、伊藤 悟、今井修、岡部篤行、岡本耕平、奥貫圭一、黒川史子、高阪宏行、佐藤英人、高橋昭子、高橋信人、南 佳孝、村越 真、米澤千夏

今年度の報告

GIT 班（久保田）

- ・ GeoPack ほぼ完成
 - GeoToy から名称変更した GIT ツールキット
 - スタンドアロン版のみ
 - 太田氏によるデモとあわせたキットの説明
- ・ 来年度の課題
 - GeoPack の改良
 - ネットワーク対応
 - 空間情報スタジオの内容をツールキットに入れ込む
 - オープンソースについても情報を追加していく
 - 学部 1・2 年生向けに対応したものにする予定

e-learning 班（小口）

- ・ 韓国の GIS 教育の調査実施 2011 年 9 月 小口・河端・李
 - プサンが中心
- ・ 来年度の課題
 - 韓国調査結果を 2012 年 10 月の GIS 学会で発表・GIS 理論と応用に投稿予定
 - BoK の Wiki
 - 3 つの Wiki を、同時に編集できるようにして、運用
 - 誰でも書き込み可、メンバーのみ書き込み可、閲覧のみ→それぞれ成長させる
 - 高橋昭子氏の作った教材「てくてく GIS」を ArcGIS10 に対応させる提案がなされた（ただし全体会后、高橋氏と相談の結果、「てくてく GIS」自体の ArcGIS10 への対応は、このプロジェクトでは行わないこととなった。かわりに独自に教材を作る可能性を検討中）

教科書班（矢野）

- ・ 教科書
 - BoK スライドに基づいて教科書を作成することになっているが、スライドの公開が遅れたため、作業開始は来年度以降
- ・ 海外の地理学について研究
 - イギリスの大学を中心に
- ・ 来年以降
 - 2012 年 9 月 UCL の Geovisualization のコース（5 日間）他にもセミナー開催
 - 放送大学で地理情報科学の導入は難しいようだが、継続的に働きかけていく

- UCGIS の GIS セミナーを IGU 京都でやりたい（日米の学生向けに行うセミナー）
（INU[International Network of Universities; 国際大学ネットワーク]から助成金も
らえる可能性あり）
- ・その他（情報提供）
 - 日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会→大学の地
理学教室の基準として地理情報科学を入れる可能性もあるか
 - 地理情報システム学会教育委員会（優良事例表彰） 2012 年度の取組
 - 地理空間情報活用専門家育成プログラム（国土交通省国土政策局）自治体向け→大
学にも応用可能？
 - 教育分野への地理空間情報の活用推進プロジェクト（国土交通省国土政策局）初等
中等教育向け→教材が Web にアップされる予定
 - 2013 年京都国際地理学会議セッションの募集 90 分×2 コマ、このプロジェクトで
枠を持つ？2013 年 1 月に論文締め切り

空間的思考班（若林）

- ・教材開発以外の研究は予定通り進展
- ・研究発表
 - AAG、STGIS にて発表
 - 空間的思考と空間的能力の研究を行った
- ・来年度以降
 - 空間的思考の基礎となる空間的能力の研究
 - 教材開発についてはオリジナルではなく、すでにあるものを活用

総括班の報告（浅見）

- ・AAG Annual Meeting（シアトル）におけるパネルディスカッション（2011 年 4 月 12 日）
 - 「International Research on Spatial Thinking: Implications for Education and Professional
Development」と題したパネルディスカッションを行った。
 - 空間的思考と教育、空間的思考の測定、空間的認知と地理的認知の違い、GIS の専
門家の養成についての発表および議論
 - 本科研のメンバーから浅見が司会として、パネリストとして石川、村越、矢野、湯
田、若林が参加
- ・STGIS2011
 - 3 日間で延べ人数 700 人参加
 - 参加者は喜んでいて（有名な研究者による講演＋参加費無料）
 - 震災と地理情報科学、キーノートセッション、研究発表
 - 論文集を Procedia- social and behavioral sciences vol.21 として刊行
 - 優秀な論文の Environment and Planning b への掲載は、2012 年発行予定
 - 次回の開催は未定

来年度の予算

- ・概ね予算案に加えて、以下のものを追加：
 - GIT 班 調査旅費 10 万、人件費 10 万
 - 空間的思考 会議旅費 10 万

来年度の事業

- ・Geovisualization セミナー 9 月 10 日（東京）
（予定される事業）
- ・ひらめき☆ときめきサイエンス（7 月） 高校生対象のワークショップ

- ・ AAG ワークショップ (9 月)

BoK スライドの公開について

- ・ スライドの名称を「地理情報科学教育用スライド (GISc スライド)」とする
- ・ スライドは PPT のままで公開する
- ・ クレジットは各ページに個人名でつける

教科書

- ・ BoK、PPT の内容を膨らませたものにする
- ・ 出版方法については要検討 (出版社から出すか、Web で出すか)
- ・ 2013 年度に発行予定
[コメント]
 - ・ ISBN ついたほうがいい
 - ・ 出版社に出版を打診 (書籍 + Web 出版の可能を含めて、矢野)

今後の BoK の更新について

- ・ 中谷コメントを踏まえて、改良

GISc スライド

- ・ 2012 年 3 月末公開予定
- ・ その後、教科書執筆者の割り振りを検討

その他

- ・ 中谷 (立命館大) → 研究協力者を打診

来年度の会議予定

- ・ 総括班会議 5 月 7 日 12 時 30 分～14 時 東大本郷キャンパス
- ・ 全体会 2013 年 3 月

以上